

林内作業車道開設事業費補助金と大久保鳥越線開設工事について

問

一・林内作業車道の延長距離と総事業費は。
二・大久保鳥越線開設工事の内容は。

答

一・今年度は十五路線予定しており、旧伊予市が一路線であり、三百メートル、中山が七路線であり、双海が七路線であり、一万九千七百メートルで、合計三万メートルを実施する予定である。
総事業費は二千万円で、うち県補助金が二分の一で一千万円、市が十分の三で六百万



林道大久保鳥越線

円で両方合わせて県と市で五分の四、受益者が五分の一を負担して、事業実施することを計画している。

二・林道大久保鳥越線は、平成八年から二十二年間にわたり、延長三千三百三十六メートルを計画しており、今年度は延長二百五十メートル、幅員四メートルの道路を計画しており、補助率は国が50%、県が15%、残り35%が市となっている。

この事業は合併前から事業実施を行っており、その関係上、受益者負担金は徴収していない。

上灘中学校等の耐震診断について

問

一・上灘中の耐力度及び耐震診断の調査時期は、いつ頃を予定しているのか。また、耐力度とはどういう意味か。
二・耐震診断の結果で、工事は、上灘・下灘両中の統合までに終わるのか。また、改築はあり得るか。
三・耐力度及び耐震診断は、市内何施設中何施設が終了し、未診断はいくらか。

答

一・夏休み期間中に早急にしたい。

耐力度調査とは、建物の構造耐力、また経過年数による耐力低下、または立地条件などを調査して、建物の老朽化の度合いを点数で判定するものである。満点が一万点で、五千点以下となると危険建物として、国の補助対象となる。

二・耐力度調査が、五千点を割る場合には、新しく建て替える方向で進んでいる。五千点を超える場合には、いろいろと検討したい。せっかく合併をするのにあわせて、新しい中学校を建て替えるべきと考えている。



上灘中学校

三・昭和五十六年以前建築の建物が対象なので、それ以後の施設は対象外である。

郡中小の教室棟、伊予小管理教室棟、中山小の特別教室棟、下灘小の管理教室・特別教室棟、屋内運動場については北山崎小、中山小で、以上が一次診断を行っている。

中学校については、伊予中の教室棟、下灘中の普通科教室・特別棟、上灘中の普通教室棟、体育館については港南中学校、中山中学校、以上が対象となっており、一次診断を行っている。

二次診断の必要のある校舎等については、総合計画で順次行い、耐震補強を行う計画である。

南山崎小学校屋内運動場外部改修工事について

問

一・改修内容について
二・耐震診断について
三・工事中の使用について

答

一・この工事の中心は、屋内運動場屋根の防水工事である

が、あと渡り廊下・階段の手すり、スクールバスの車庫・擁壁等の塗装工事となっている。

二・当屋内運動場は、昭和五十八年三月建設で、耐震診断の基準となる新耐震設計法の施行が昭和五十六年であり、昭和五十六年以前に建築された建物が対象となるため、当該施設は耐震診断対象外となっており、大丈夫であると判断している。

三・工事内容から見ると、工事中の使用については支障なしと判断している。



南山崎小学校屋内運動場